

ウェルビーイング
Well-being

<令和7年度 翔南祭(体育祭)講評>

今日は、雲一つないさわやかな秋空のもと、島原翔南高校の体育祭が挙行されました。ここ数日からしても、ここまで天気を心配しなくていい体育祭は久しぶりでした。

「笑顔満祭 ~チームで心を一つに~」のテーマのもと、今まで各班ともに一生懸命取り組んできたことがよくわかりました。何かの縁で一緒になった各班の人達。はじめは単なる「集団」だったのが、日を増すごとに「チーム」へ変化していきました。そこには、各班のリーダーの導きがあったからです。青班班長の岩永成耶さん、赤班班長の重村龍也さん、ここまで立派に「チーム」にしてくれてありがとう。そして、そのリーダーを支えようとした応援団のみんな、目を引く旗を何日もかけて描いてくれたみんな、先輩について行こうと一生懸命になってくれた1,2年生。全ての皆さんにありがとうと言いたいです。

今日も朝早くから登校して、テントの中のいすや机をきれいにふいてくれたり、正門に看板を掛けてくれたり、機材や用具の準備をしてくれた皆さんや先生たちがいました。先日は、お客様に少しでも気持ちのいい思いをしていただこうと、暑い中除草作業も頑張ってくれました。

勝敗はつきました。青班の皆さん、おめでとう。赤班の皆さん、悔しかったですね。終わったあとの皆さんの涙を見た時に、心が熱くなりました。一生懸命頑張ってきたからこそその涙です。でも、勝ち負けよりもっと大切なものを皆さんは手に入れました。体育祭を振り返ってみてください。上手いかなかったこともあったでしょう。そのような中でも、少しずつまとまってきた喜びを感じることもあったことと思います。終えたあと、皆さんの心に残った、仲間と一緒に頂点を目指し頑張ってきた思い出は一生忘れることはないはずです。それを大切にしてください。

今日は、皆さんが卒業した中学校の校長先生方もたくさん来てくださいました。高校で皆さんが頑張っている姿、生き生きと楽しそうにしている姿がとても嬉しいとおっしゃってくださいました。

私は、今日の皆さんの様子を見て、自分の息子の体育祭を思い出しました。もう、8年ほど前のことです。その時もものすごく楽しかった。息子の一生懸命の姿や楽しそうな姿を見て、その高校にやってよかったと思ったものです。今日、皆さんの楽しそうな姿を見られた保護者の方が、私が息子の体育祭で感じたことと同じように思ってくださいましたのであればとても嬉しく思います。

今日、皆さん一人ひとりが、自分の競技、自分の役割、そして班のために、と頑張ってくれたこと、ありがとう。3年生は、1,2年生をしっかりとリードしてくれたこと、ありがとう。楽しいパフォーマンスをありがとう。一生懸命に頑張ってくれたこと、ありがとう。たくさんのありがとうを言いたいです。

最後に、今日も皆さんは島原翔南高校の自慢の生徒たちでいてくれました。ありがとう!!